

波佐見中 SDGs プロジェクト

廃棄される給食食器をはさみ陶器まつりで配付

波佐見中学校学校便り
豊かな生活切實、よき未来の創手となる生徒の成長

第4号
編集・発行
波佐見中学校
校長 池本敦司

計画の始動

「給食で使用していた廃棄予定の食器を有効に活用できないか」生徒たちの思いがはさみ陶器まつりで形になりました。

波佐見町では3年から4年に一度、給食で使っている食器の入れ替えを行っています。その際、生徒たちにデザイン案を募集し、採用されたものが実際に食器にデザインされ町内の給食に使用さ



TVの取材を受ける生徒
4月30日、やきもの公園で

食器と波佐見中をアピール

預かった義援金も今後現地に

初日はTVや新聞の取材も行われ、準備段階や給食食器を配付する時の気持ちなど、的確に伝え、この活動を通して伝えたいSDGsの考え方などわかりやすく話ができいました。夕方のニュースでもかなりの時間を放送され、私もいろんな方から「ニュースを見た」「生徒たちはとても素直で頑張っていますね」とお褒めの言葉をいただきました。5月1日の長崎新聞にも大きく扱ってもらいました。



長崎新聞 WEB サイト
2次元コード



中学校のテントには次から次に来場者が4月30日、やきもの公園で

大盛況の取組

会場には波佐見中学校のジャージを着た生徒の姿が。手には火ばさみを持っていきます。この食器は「ワレニツカ」ともいわれ強度が強いことが売りです。何度かの入れ替えに伴い、給食センターには多くの使われなくなった食器が保管されておられ、廃棄する他にこの「ワレニツカ」を活用する

る方法がないか、昨年度末に中学校に話がありました。生徒会と職員で活用方法について話し合い教育委員会とも相談しながら5月の陶器まつりで再利用していただけたらに配付して利用していただこうという事になりました。同時に能登半島地震の義援金の募金活動も行おうことも決め、まだ使えるものを次の利用者につなぐことと、能登半島への支援を継続するという「絆の日」にふさわしい取組となりました。

郡内吹奏楽部集合♪

ブラボー
ザ・ブラス



演奏する吹奏楽部
4月20日 波佐見講堂で

4月20日(土) 旧中央小学校講堂で、第12回ブラボーザ・ブラスが行われ、吹奏楽部がセカオワのRPGを演奏しました。また、川棚、東彼杵中と合同演奏を行いました。50人近くでの演奏は圧巻で会場を埋める多くの観客から温かい拍手が送られていました。

校長日記

もって、陶器まつり会場に落ちていたゴミを集めて回っています。「せっかく参加するのなら、町のために何かしたい」計画段階で挙げた生徒の声も形になりました。中学校のブースがある芝生広場では「廃棄される食器を配付しています」と元気な声が響き渡っていました。実際に食器を手にした来場者は口々に「いい取組ですね」「中学生の頑張りがとってもすがすがしい」といった感想を述べられていました。TVや新聞の取材も受け波佐見中学校の良さを県内外にお知らせするよい機会となりました。

SDGsプロジェクト。多くの方から反響があった。各方面の御協力と御支援のおかげである▼生徒が多くこのことを企画し活動を行った。その裏で必要な物品の準備、会場の下見、参加生徒の募集や当日の引率など生徒の傍で活動を支援する本校職員の動きがあったことを記しておきたい▼余談だが担当職員がパソコンのコミュニケーションツールを使い打ち合わせを実施。さながらイベントプロデュースするチームであった。ICTを駆使する姿を頼もしく感じた。